

前橋清陵高等学校ではこのような先生を求めています

定時制昼間部

- 教育相談に熱意があり、多様な生徒を支援・指導できる先生。
- 情報システム管理の中心になれる先生。

定時制夜間部

- 定時制教育に情熱を持ち、情報機器管理ができ、責任感のある先生。
- 多様な生徒の支援に積極的で、粘り強く生徒の指導ができる先生。

通信制

- 通信制教育を理解し、多様化する生徒に熱意を持って指導できる先生。
- コンピュータ関係に詳しく、システム管理の中心になれる先生。

本校の沿革

- 昭和41年 前高、前女の定時制を統廃合し群馬県立前橋第二高等学校として開校。
- 昭和42年 前橋市立女子高校定時制を統合。
- 昭和45年 通信制衛生看護科を開設。
- 昭和47年 定通制完全独立校となる。
- 昭和62年 通信制普通科を設置。
- 平成4年 三年修業のための定通併修開始。
- 平成5年 昼間部・夜間部・通信制を単位制に移行し、校名を群馬県立前橋清陵高等学校と改称し現在に至る。

本校の特徴

- ◇本県初の定時制昼間部、定時制夜間部、通信制の3部からなる単位制高校です。
- ◇各部の勤務はそれぞれ異なります。勤務時間帯
 - ・定時制昼間部（毎日昼間に6時間の授業を実施） 8:30～17:00
 - ・定時制夜間部（毎日夜間に4時間の授業を実施） 13:00～21:30
 - ・通信制（添削指導と月2回の日曜スクーリング実施） 8:30～17:00
- ◇出席、時間割、成績等はコンピュータで処理します。
- ◇生徒は74単位を取得すれば3年間で卒業できます。
- ◇生徒は自分の生活に合わせて科目選択し時間割を組みます。

本校の課題

- ◇単位制・2学期制を生かした教育課程の編成。
- ◇基礎学力を身に付けさせる授業の工夫・改善。
- ◇基本的な生活習慣の育成と個を大切に生徒指導。
- ◇進路目標の実現をめざす個に応じた進路指導。
- ◇PTAと連携し地域に開かれた学校づくり。
- ◇特別支援教育・教育相談の充実と、教職員の専門性の向上。